

気持ちも新たに 20歳の門出を祝う



成人を迎えたみなさん

三月二十日の春分の日、横越村農村環境改善センターで成人式が開催されました。

今年は、ここ数年成人式に着物姿で出席したいとの要望があり、例年開催している八月十五日を、改めて行なわれました。

快晴の中、出席者は百六十六名の該当者のうち九十六名。久しぶりの友達との再会に、懐かしそうに会話する光景があらこちらに見受けられました。

式典では浅見村長から「横越村が横越町として飛躍しようとしている今、皆さんの活躍は更に期待されます。どうか二十歳を契機として、一層知性を磨き、心身を錬磨され、この社会情勢に添えてください」とはなむけの言葉が贈られました。

それに応え、新成人三名が所感発表を行い、その後、中学校時代の担任の先生より、立派に成長した教え子の姿を讃えての心温まるお話が述べられ、成人の皆さんは懐かしそうに聞き入っていました。

新成人の 所感発表 (抜粋)



越風間克寿さん

我々の生まれた年は昭和五十年、五十一年で、その間横越村も我々とともに成長を歩み続け、今年秋の町制施行を目指すまでに至り、この大きな変革の時期に成人式を迎えることができた事は、幸運であり、喜びもひとしおであります。

これから我々は、一人前の大人として自覚して生きていくことが必要でありますが、もう一つ重要なこととして、郷土が今



海津智美さん

早いもので、横越中学校を卒業してから、もう五年が過ぎました。

まで我々を育ててくれた事に對し、今度は我々が郷土のためにつくし、横越の住民としての誇りをもって、地域に貢献する事が必要であると思います。

実際に、若い世代が積極的に地域の活動に参加しているような所は、地域内に活力があり、生き生きとしています。地域が真に活性化するためには、地元に住む人の盛り上がりによる活性が不可欠であり、エネルギーが豊富な若い世代の存在はこの活力の原動力となり得ると思います。そういう意味では、成人となった我々の役割というの大きいものであるし、成人という存在が社会を動かせる力を備えた存在だということを、当然の事ながら心に留めておきたいと思えます。

今、我々は人生のスタートラインに立ったわけですが、二十世紀に向けこれからも良き地域のパートナーとして互いに頑張っていきたいです。

こうして懐かしい顔が揃い、つらく楽しくもあった中学校生活が良き思い出として、思い起こされます。

私は高校卒業後、専門学校に進学しました。そして、この水河期といわれる中、就職活動をし、いよいよ明日から私も社会

人の仲間入りをします。

二十歳の誕生日を迎えても、今までは学生だったので特に変わった事も改めて実感することがなく、学生だからと大目に見てもらえることも多くありました。人間関係も、学生の頃は学校内では歳の差のない人達の集まりで、横のつながりが強く、先生に対しても友達のように接



越田中孝昭さん

中学校を卒業して五年が経ち、今日から晴れて大人の仲間入りとなりました。

考えてみれば、今日までいろいろな人達と接し、多くの事を学びました。

今まで何も出来なかった自分を、両親や周囲の人達が励まし支えてくれたおかげで、今の自分があるのだと思います。今までのように何でも人に頼って生活していくのではなく、自ら進んで何事にも取り組まなければならぬと思います。

私達一人一人が、自覚と責任をもって社会に臨むべきだと思います。そして今、何をやるべきか、何を考えなければならぬ

してきました。

しかし、一步社会に出れば競のつながりが強くなり、自分の立場、態度、言葉遣いをわきまえなければなりません。

今は成人としての自覚が足りませんが、自分を見つめ直し、社会人としての自分を認識し、社会と歩き出して行きたいと思っています。

いのか、今日改めて考えてみようと思います。

私は、この三月アップルスポーツカレッジという専門学校を卒業しました。そこでは、スポーツは勿論、スポーツに関するいろいろな事を学び、社会に出るための勉強もしました。今現在では就職も決まっていますが、少しでも私が今まで取得した資格が役立てる職につきたいと思っています。そして、高校からやっているサッカーも今年で六年目です。現在は社会人の三部リーグの、あるチームに入ってプレーしています。早く二部リーグに昇格できるよう頑張りたいと思います。スポーツを通じて少しでも村に貢献できればと思います。

中学時代の先生からのお言葉



藤沢時夫先生

私が横越を離れて、はや二年が経ちますが、これはと思ったことを一つだけ言えば、現在の社会というのは、なかなかストレスが溜まりやすいということです。

横越にいた時は、とかく機会もなかったのですが、最近趣味として釣りを覚えました。



橋本美智子先生

美しくそしてたくましく育った皆さんと、会えた喜びで胸がどきどきしました。

一番思い出に残っている事は、皆さんが入学した時の入学者代表の挨拶で「スポンジのように、中学校で吸収出来ることを出来るだけ吸収したい」という言葉です。今でもスポンジを見る度に



に思い出します。

横越村が横越町になるこの年に、成人を迎えられた皆さんに寄せられる期待は大変大きなものがあると思われ、どうか健康を第一に、これからも皆さんが選ばれた道を信念を持って進んで下さい。心から応援しています。

皆さんは今、大学の三年生くらいか、就職している人もいます。就職して、会社に入れば縦の関係などからストレスが溜まりますが、趣味を見つけて今から何かやってもらいたいと思います。

若さを大事に、これからも頑張ってください。